

を確かめてから渡るようにしています。これは、一年生や二年生の小さな子どもたちも、きちんとやっているのをよく見かけるので、続けてほしい習慣です。ただ、時々、気になっていたのは、安全な歩き方をしていないのではないかと思われる人たちの歩き方です。仲良しの友だちとおしゃべりに夢中になって、よく前を見ずに歩いていたり、友だちを押しついたり引ついたり遊びながら歩いていたりする姿を見ると、とても気になります。信号のあるなしにかかわらず、いつでも前後左右の安全には気を配っていききたいものです。

三つ目は、暗くなったら一人で外に出ていけないということです。子どもは、運転している人からは、見えづらいこともあるのですが、うす暗くなつてくると本当に危険だと思うのです。もし、私が気を付けて歩いていても、運転している人が私に気付かず、いたら大変なことになってしまいます。

このように、私が気を付けていることは、ごく当たり前のことで、小さなことかもしれませんが、でも、この小さなことをいつでもしっかりと守ることによって事故は防げると思います。

藤里町は、5,460日以上、交通死亡事故がありません。これは、藤里町に住んでいる人たちが藤里町にやって来る人たちが、しっかりと交通ルールを守っているということだと思います。このすばらしい記録が、ずっと続いていくように、これからも、当たり前前の安全ルールをしっかりと守っていきます。一人一人が気を付けることによって、藤里町は日本一幸せな町となると信じています。



佐藤瑛太さん



菊池愛奈さん



『お助けくん』に決定！

藤里町生活環境課では、今年度購入した救助活動用リヤカーの愛称を10月29日の町民祭で募集したところ、石田洋三さん（上町第一）の「お助けくん」に決定しました。

「お助けくん」は、有事の際、歩行困難者の避難活動や物資の運搬等で活躍いたします。

たくさんのご応募、誠にありがとうございました。



石岡陽花さん

